

報道発表

【令和7年4月17日】

COCORONOMICHI



尾道市企画財政部政策企画課
政策企画係（担当）應治、北村
電話〔直通〕(0848)38-9316

〔内線〕 356、354
FAX (0848)37-2740
E-mail kikaku@city.onomichi.hiroshima.jp
〒722-8501 尾道市久保一丁目 15-1

件名	おのみちバス㈱におけるバスロケーションシステムの導入について
----	--------------------------------

本市では、マイカー依存やライフスタイルの変化等に伴う利用者の減少に加え、物価高騰、運転手不足など、厳しい状況にある公共交通事業者に対して、利便性向上や事業者の事務等の効率化に資するデジタル技術の導入支援を行っています。

おのみちバス㈱において、尾道市公共交通事業者キャッシュレス機器等整備事業費補助金の活用により、令和3年度のキャッシュレス決済システム（ICOCA）導入に続き、令和6年度にバスロケーションシステムが導入されましたので、お知らせします。

＜尾道市公共交通事業者キャッシュレス機器等整備事業費補助金とは＞

市内を運行する公共交通事業者がキャッシュレス機器等の導入事業を行う場合に、その必要な経費の一部を補助金として交付することにより、利用者の利便性の向上による利用の促進及び公共交通事業の活性化を図ることを目的とした補助制度で、令和3年度から実施。令和6年度からは、尾道市地域公共交通DX推進事業費補助金として、対象事業を拡大。

【これまでの活用実績】

令和3年度：おのみちバス株式会社（キャッシュレス決済システム導入）

令和4年度：本四バス開発株式会社（キャッシュレス決済システム導入）

令和6年度：中国バス株式会社（キャッシュレス決済システム導入）

鞆鉄道株式会社（キャッシュレス決済システム導入）

＜バスロケーションシステムとは＞

無線通信やGPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板やスマートフォン、パソコン等に情報提供するシステム。

【添付資料】 有 無

おのみちバス(株)におけるバスロケーションシステムの導入について



①概要・目的

広島県内ではバスロケーションシステムの導入が進んでおり、利便性向上や利用促進の観点から、市内においても導入を促進すべき状況にある。多言語対応とすることで、訪日外国人の移動を円滑にし、観光振興にもつながることが期待される。公共交通を取り巻く環境が厳しさを増すなか、尾道市の公共交通を担う事業者の利便性向上、利用促進につながる取組を支援した。

<期待される主な効果>

- ・分かりやすさの向上、利用者目線に立った情報発信の推進、データ整備・活用の進展
- ・利用者がバスの到着予想時刻を把握できるため、待ち時間のストレスが軽減される
- ・Google マップでの正確な経路検索が可能となり、利便性の向上につながる

<運用開始> 令和7年4月1日

②市からの補助金について 1,445 千円（税抜）

事業費	総事業費 9,270 千円（税抜）内ライセンス費 600 千円は 補助対象外 補助対象経費 8,670 千円（税抜） 国補助額 2,890 千円（対象経費の 1/3） 市補助額 1,445 千円（対象経費の 1/6）
業者	モバイルクリエイイト(株)（大分県大分市）
対象言語	英語、中国語、韓国語